



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046
大東市赤井1-2-10-4F
TEL : 072-872-6349
FAX : 072-872-6552
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 12:30~13:30
ホテル阪奈
〒574-0012 大東市龍間266-8
TEL : 072-869-0181
FAX : 072-869-0105



CREATE HOPE
in the WORLD

■会長:青田朝代 ■幹事:岩本静江 ■会報委員長:住川奈美

RI会長 ゴードン R. マッキナリー
2023~2024年度
国際ロータリー・テーマ
世界に希望を生み出そう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

第 1146 回 例会 令和 6 年 3 月 27 日

開会点鐘 : 12:30
 ロータリーソング : 「奉仕の理想」
 来客紹介 : 親睦活動委員長
 会長の時間 : 会長
 諸報告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱
 卓話 : 「私の故郷」米山奨学生 フィンティフックウィンさん
 閉会点鐘 : 13:30

次週のお知らせ

卓話 : 「楽しいMy ROTARY」地区公共イメージ向上委員会委員 田原至(ジョン ウォンズ)氏

3 月 13 日の例会の記録

出席報告

会員数 : 23 名
 出席者数 : 12 名
 欠席者数 : 7 名
 出席規定免除者数 : 4 名
 出席率 : 63.15 %
 1月24日 修正出席率 : 57.89 %
 ↓
 73.68 %

お知らせ

- ・4/9(火) 合同例会 (ホト大東RC) ホテル阪奈12:30より
- ・4/17(水) 卓話 : 岩本会員
- ・4/20(土) 地区研修・協議会 次年度の役職・担当役職
登録開始12:00 開会12:30 閉会17:00 大阪国際会議場 10階1003号室
- ・4/24(水) 定款による休会
- ・5/1(水) 定款による休会
- ・5/8(水) 卓話 : 川西会員

お客様

I. M. 第3組ガバナー補佐 岩本昌治様(くずはRC)
 ガバナー補佐エレクト 岡田光司様(寝屋川RC)
 養老孝雄様 (くずはRC)



ニコニコ箱

- ・岩本G補佐ようこそいらっしゃいませ。よろしく御指導願ひ致します。 岩本会員
- ・岩本G補佐・岡田G補佐Eようこそ。御指導よろしくお願ひ致します。
青田・荒金・大東・白川・北田・川西・吉村 会員
- ・岩本G補佐・岡田G補佐E、くずはロータリークラブ養老さまようこそ。 田中会員
- ・懇親会を遅刻いたしましてお詫び申し上げます。 清水会員
- ・3.11東日本震災時帰宅難民で困った事を思い出し。能登半島、東日本、東北の早期の復興を祈ります。 寺田会員

当日計	¥25,000
今期累計額	¥638,000

《 会長の時間 》



会長 青田 朝代

こんにちは。今年はスマートフォンなど「機械などにも取り組んでいこう」ということで、本日はQRコードの豆知識をお話ししたいと思います。

QRコードは、「Quick Response (クイックレスポンス) コード」を省略した名称です。

正方形の3つの頂点に特徴的な四角形の模様を配置し、中央全体にモザイク模様が刻まれた見た目をしています。このような縦と横の二つの軸で情報を表したものを「二次元コード」と言います。

QRコードをスマートフォンのカメラで撮影すると、HPアドレスや、地図や、名刺情報が即座に表示されます。あるいは、QRコードを使って決済を行うことができます。

QRコードの特徴は、①大容量の情報が格納ができる、②サイズを柔軟に変えられる（小型化）、③高速読み取り、④汚損に強い、⑤全方向から読み取れる、⑥「二次元コード」と「読み取り機」が必要。と、いったところです。

——とても便利で生活に欠かせなくなったQRコードですが、誰が開発したのでしょうか？

実は、日本の「デンソー」という会社です。

デンソーはトヨタの開発部門の一つが独立し、部品供給企業として成長した会社です。つまり、トヨタ系列なのですね。トヨタは、今ではとても有名な「カンバン方式」の生産方法を1970年代に下請けや系列会社にも導入しようと考えました。

——カンバン方式は、「必要なものを、必要な時に、必要なだけ作る」仕組みです。



例えば、車が2台売れたら、車2台分の部品の発注を下請けにかけます。1時間後に車が10台売れたら、車10台分の発注をかけます。下請けは、2台分の部品を作って納品し、1時間後には10台分の部品を作って納品します。

このとき、トヨタから回ってくる**発注書が紙の「かんばん」**です。無駄を省く生産方式として、今ではその有用性が証明されていますが、カンバン方式をグループ会社に広めるためには大きな**問題点**がありました。

それは、まず、**「かんばん」が物理的な紙に手書き**であることから、工場内で**汚損の恐れ**が大いにあったこと。

それから、「かんばん」が回ってきて、**発注を受ける度に、4種類の伝票を作成するのは下請け側**であったこと。納品の度に検品も行われました。実際には、1時間に1回、1日に16回納品が行われたので、伝票作成や検品が現場の大きな負担となっていました。

コードを使ったデジタルな、パソコンと連携した生産管理の手法は、**現場の悲鳴から生まれたもの**でした。QRコードも、このトヨタのカンバン方式を成り立たせるために開発されたものなのです。汚れに強い理由がおわかり頂けると思います。

実際には、一足飛びにQRコードの開発へ漕ぎつけた訳ではありません。1970年代当時、日本ではパソコンが使われ始めたばかりでした。パソコンを1分間動かすのに、電気代が660円かかったそうです。

①そんな頃、デンソーの開発部は、**かんばんをデジタル化するために既存の「バーコード」を使用しようと検討**しました。

しかし、私たちがよく知るあの定番のバーコードでは桁数が足りませんでした。加えて、当時のバーコードはペンでなぞって読み取りをしていました。工場内で、油まみれの手で、油まみれで黒く汚れたバーコードをペンでなぞって読み取るなんて至難の業ですよ。しかも、漢字を印刷できるプリンターも存在しませんでした。

様々な困難を乗り越えて、NDコードという独自のバーコードと、バーコードリーダーが開発されました。

②バーコードリーダーの進化には、セブンイレブンが関わっています。

1970年代後半、セブンイレブンはレジ情報と本社のコンピュータを紐づける「POS（ポス）システム（Point of Sale）」を構築しようとしていました。

バーコードを採用したのですが、コンビニは小さな商品や、おにぎりのような面の曲がった商品や、黒い商品があって、バーコードリーダーで読み取りにくいという問題がありました。

また、**毎年7割近くの商品が入れ替わるので、現場の店員の商品知識が追いつかず、検品作業が滞るといった問題**がありました。

デンソーはセブンイレブンの要請に応じて、検品用スキャナーを開発しました。

大きくこの二つの経験が基礎となって、「QRコード」が開発されました。

1980年代後半になって、モノ余りの時代になると、会社は**多様化やオプション追加**で消費者を獲得しようとしていました。また、**海外進出**した工場との連携が必要になってきました。



そのとき、バーコード1個だけでは管理できなくなっていました。対症療法的に、かんばんにバーコードを複数個印刷して現場を回していましたが、読み取りに時間がかかり、誤読が増えていきました。

この頃、世界に先行して、アメリカで「二次元コード」と呼ばれる新しいコードが開発され始めていました。バーコードの場合、情報は直線状に1列だけ収納されますが、二次元コードの場合は、四角形で囲われた面積の中に情報を詰め込めます。

アメリカでは、「大容量」「小型化」「高速読み取り」など何か一つに特化した二次元コードが開発されていましたが、全ての要求を満たすコードは存在しませんでした。

「どうせ作るなら、全てのニーズを賄う、世界のいろいろな業界に利用される、世界標準の二次元コードを作りたい！」

そこで、1994年、デンソーが開発したのがQRコードなのです。

QRコードは、当時のアメリカのライバル企業の方針と、NDコードが広まらなかった経験から、最初からオープンソースで発表されました。海外の取引先にも採用してもらえるよう、世界標準を目指し、2000年にISO/IEC18004を取得しました。

企業内で生産管理や流通管理に使われていたQRコードが、我々一般消費者の生活で使われるようになったのは、2002年に日本テレコムとシャープがQRコードを読み取れる携帯電話を開発してからです。また、2005年にANAが搭乗チケットにQRコードを用いた電子チケットを採用したことも大きなきっかけとなりました。

その後、QRコードは「小型化」「デザイン化」「セキュリティ強化」の方向で進化していています。

今年の目標の一つに「機械に強くなろう」としました。

QRコードは、スマートフォンを簡単に使えるようにする便利なツールです。①スマートフォンでQRコードを読み取れるようになること。②次に、名刺や資料作りで使える場面があれば、QRコードを使って作成できるようになれば、思い遣りのある仕事ができるかもしれません。

また、今、投資立国ということが言われておりますが、日本の強みは普通の人たちが命令や重い罰則がなくとも一生懸命こつこつと働くことなのです。

これは日本文化に根ざすもので、他国ではなかなか得られない貴重な資源です。投資を活発にすることは良いことなのですが、モノづくりの精神や仕事をおざなりにしないようにして欲しいと願います。

欧米を見ていますと、産業が空洞化し、あるいは、人口が減少すると、それを埋めるために金融投資に力を入れ、移民を入れようとします。すると、国内で民族対立が起き、国民の分断が起き、他国の戦争事情や宗教対立が持ち込まれ、結果治安が悪化しているような現象がニュースで流れてきます。

そうならないためにどうすべきかという、一つは少ない人数でも仕事を回せるように効率化することです。今後、注文やサービスの機械化は、ますます進んでいくように感じます。

消費者の私たちも、自分でできることは自分でやれるようになること。サービス



が少し手薄になっても安易にモンスター・コンシューマーにならないように心掛け、日本の商品やサービスを買いつけることが必要となるでしょう。

もちろんTPOはありますから、高級なホテルやレストランではスタッフによる手厚いサービスが維持されるべきだと思います。その場合、消費者はサービスに見合う十分な報酬を支払う心積もりが必要になるでしょう。

[幹事報告]

幹事 岩本 静江

- ・IM第3組ロータリーデー
日時 2024年3月23日(土)・受付 12:30 : 開会 13:30~
場所 YES-THEATER(なんばグランド花月ビル地下)
- ・4月9日(火)合同例会(ホスト大東RC) ホテル阪奈にて12:30より
※4月10日(水)例会はありません。
- ・事務局 3/15(金)有給休暇取得

ロータリー財団より、称号が贈られました

☆恒久基金ベネファクター
会長 青田 朝代





●)) 先週の卓話 (●

ガバナー補佐・ガバナー補佐エレクト 訪問



「ガバナー補佐について」

国際ローター第2660地区 I M第3組
ガバナー補佐 岩本昌治 氏

皆様 お世話になります。くずはクラブの岩本です。エレクト時代を含めて最後4回目の訪問です。本当にお世話になりました。

ガバナー補佐役は、チャンスがあればお役を受けて下さい。ロータリーのすばらしさが体験出来ます。お役を受けさせていただいて本当にありがとうございました。

R I 会長のゴードン・マッキナリーさんがおっしゃっています。

続けましょう。自分らしくあるために思いやりのある行いで不親切な世界をあっという言わせる為に！

補佐役のお話をして下さいと言われ、発言するなら、ポリオ根絶がロータリーの最優先事項である。ロータリアンであるならばポリオのない世界をという夢を追い続けるべきである。もう一度ポリオについてお話しします。

ポリオという病気には治療薬がない為に感染すると出て来た症状を受け入れるしか、方法がないのです。神経にダメージを受けると神経麻痺が起こります。

心筋にダメージを受けると.....結果。死に至ります。

感染すると悲惨な事態に陥ります。

ポリオ根絶が出来なかったら今後10年間、毎年20万人の子供達が身体麻痺になる可能性があります。ポリオ根絶の為には、毎年4億人以上の子供達へのワクチン代が必要です。

15万人以上の保健従事者の雇用代と交通手段、広報費用等が必要です。

ポリオ根絶は、未来の子供達への投資で、医療費の節約になります。

全世界の若い母親や子供達への約束です。

ロータリアンが全世界の方に約束したのは事実です。ロータリーのプライドがかかっています。

全世界のロータリアンのうち12人のうち1人しか寄付ができていません。がんばりましょう。

国際ローター第2660地区 I M第3組
ガバナー補佐エレクト 岩本昌治 氏

